

# 株式会社電算 2015年3月期第2四半期 決算説明会資料

2014年11月21日

(東証一部 証券コード3640)

[www.ndensan.co.jp](http://www.ndensan.co.jp)

# I 2015年3月期第2四半期 決算

II 2015年3月期通期 業績予想

III 現在の取り組みと今後の状況

IV 株主還元

**売上高** 52億16百万円(前年同期比 3.5%減)  
**営業損失** 4億96百万円(前年同期は 4億34百万円の営業損失)

● 公共分野

総合行政情報システム及び財務会計システムリプレイス等により、売上を確保したものの、次期総合行政情報システムの研究開発費の増加等により、増収減益。

● 産業分野

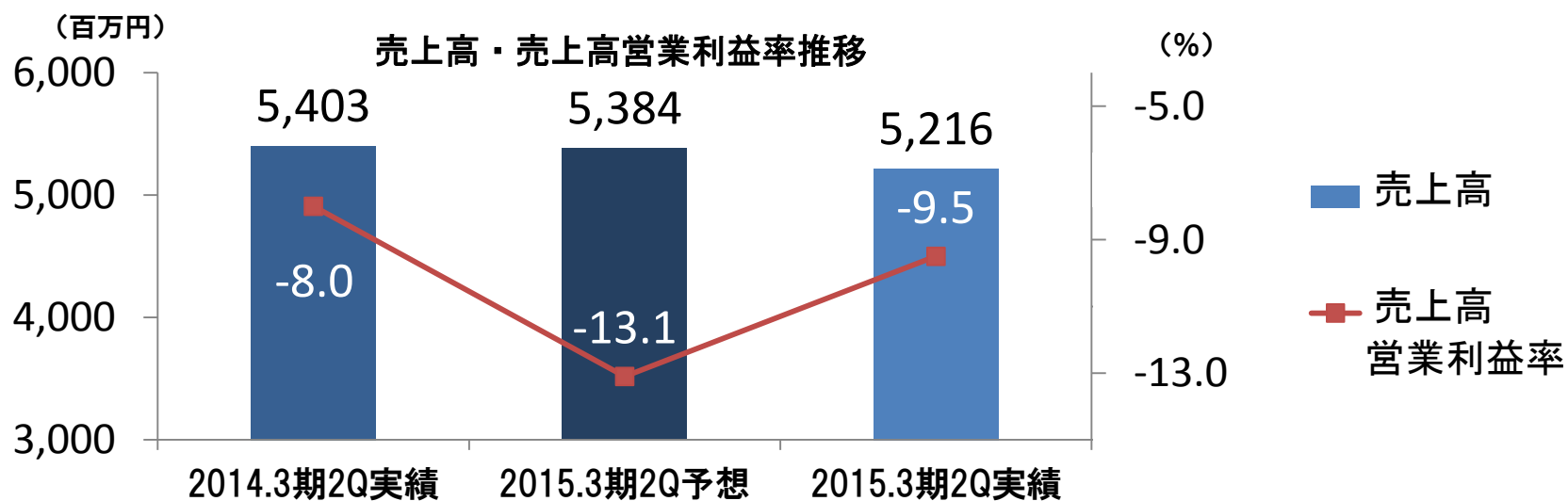
医療機関向けシステムの機器販売・導入・保守等を実施。  
受注不足、価格競争の激化により減収減益。  
(株)アイネットとの提携で、クラウド事業拡大を推進。

● 全社

次期総合行政情報システムの研究開発や人材育成への投資。

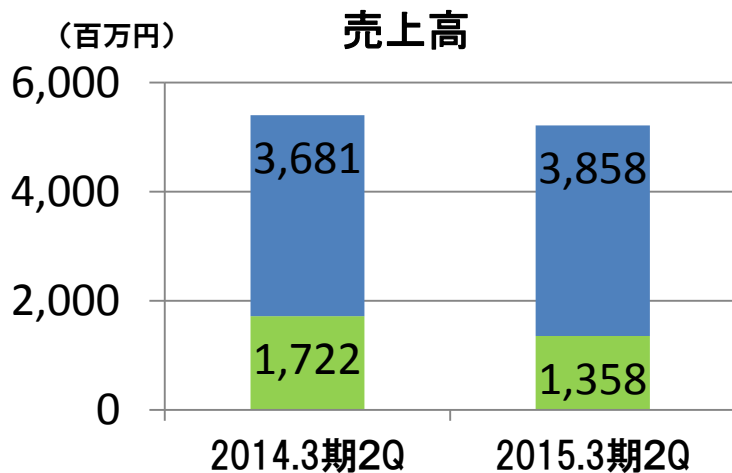
# 2015年3月期第2四半期 損益計算書

	2015年3月期2Q 実績		2014年3月期2Q 実績		対前年同期増減		2015年3月期 2Q 予想		対予想増減	
	金額 (百万円)	利益 (損失) 率(%)	金額 (百万円)	利益 (損失) 率(%)	金額 (百万円)	率 (%)	金額 (百万円)	利益 (損失) 率(%)	金額 (百万円)	率 (%)
売上高	5,216	—	5,403	—	▲187	▲3.5	5,384	—	▲168	▲3.1
営業利益 (△は損失)	▲496	▲9.5	▲434	▲8.0	▲62	—	▲707	▲13.1	211	—
経常利益 (△は損失)	▲473	▲9.1	▲430	▲8.0	▲42	—	▲670	▲12.4	197	—
四半期純利益 (△は損失)	▲325	▲6.2	▲305	▲5.7	▲19	—	▲444	▲8.2	119	—

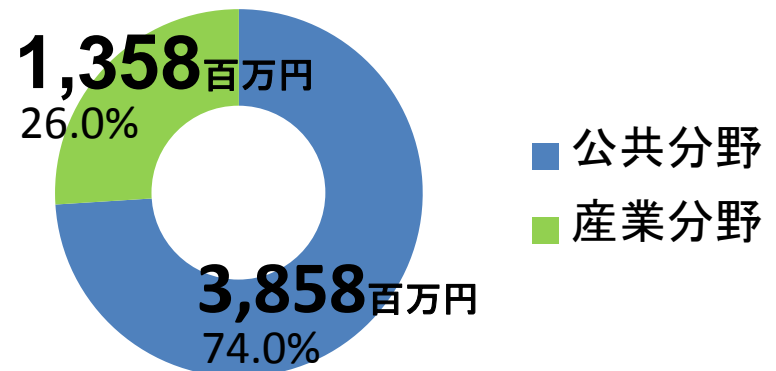


# 2015年3月期第2四半期 セグメント別損益(営業利益)

		2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減額	増減率
公共 分野	売上高 (百万円)	3,681	3,858	177	4.8%
	営業利益 (損失) (百万円)	△239	△253	▲14	—
	営業利益 (損失)率 (%)	△6.5%	△6.6%	—	—
産業 分野	売上高 (百万円)	1,722	1,358	▲364	▲21.2%
	営業利益 (損失) (百万円)	△180	△250	▲69	—
	営業利益 (損失)率 (%)	△10.5%	△18.5%	—	—



2015.3期2Qセグメント別 売上構成比



# 2015年3月期第2四半期 業務の種類別損益(売上総利益)

		2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減	
				金額	率
情報処理・ 通信サービス	売上高(百万円)	1,511	1,552	+41	2.7%
	売上総利益(百万円)	380	456	+76	20.0%
	売上総利益率(%)	25.1%	29.4%	+4.3pt	
ソフトウェア開発・ システム提供 サービス	売上高(百万円)	2,175	2,231	+56	2.6%
	売上総利益(百万円)	626	914	+288	46.0%
	売上総利益率(%)	28.8%	41.0%	+12.2pt	
システム機器 販売等	売上高(百万円)	890	672	▲218	▲24.5%
	売上総利益(百万円)	177	164	▲13	▲7.3%
	売上総利益率(%)	19.9%	24.4%	+4.5pt	
その他関連 サービス	売上高(百万円)	826	759	▲67	▲8.1%
	売上総利益(百万円)	233	216	▲17	▲7.3%
	売上総利益率(%)	28.2%	28.5%	+0.3pt	

I 2015年3月期第2四半期 決算

## II 2015年3月期通期 業績予想

III 現在の取り組みと今後の状況

IV 株主還元

**売上高** 135億円（前期比 7.3%増）  
**営業利益** 2億4千万円（前期は2億16百万円の営業損失）  
**当期純利益** 1億7千万円（前期は4億24百万円の当期純損失）

### 公共分野

- 基幹系システムの新規獲得
- 番号制度などの、法・制度改正の着実な対応
- 次期総合行政情報システム研究開発の計画推進

### 産業分野

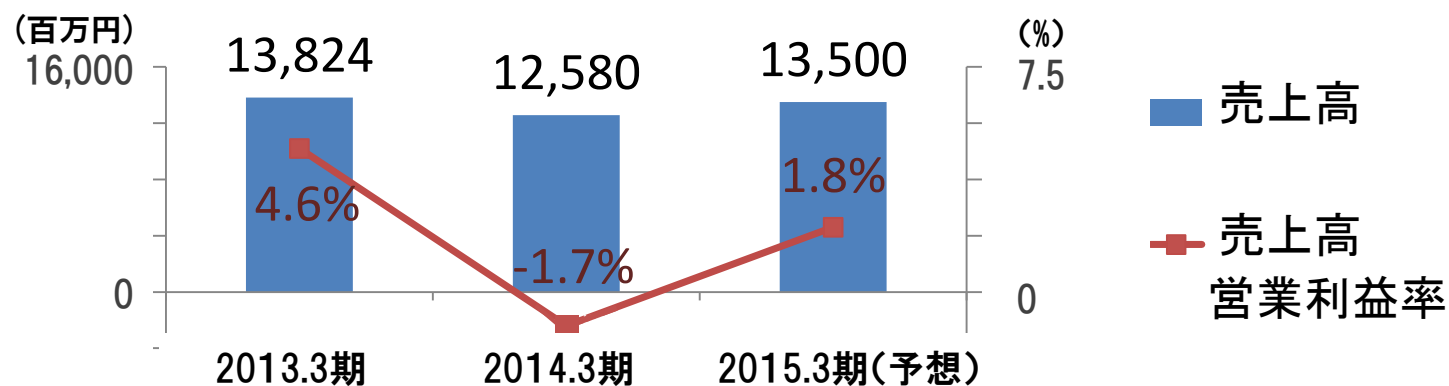
- 既存システムの更なる拡販
  - ・新規販社の開拓と既存販社への支援強化
  - ・医療分野は、上期実績を足掛かりに新潟・群馬・山梨県で展開を目指す
- データセンターのクラウド化推進
  - ・クラウドサービス(AirCloud)の拡販
  - ・クラウドEXPO出展による新規商談の発掘



# 2015年3月期通期 業績予想

	2014年3月期		2015年3月期(予想)		増減	
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	率
売上高	12,580	—	13,500	—	919	+7.3%
売上総利益	3,624	28.8%	4,691	34.8%	1,067	+29.4%
販管費及び一般管理費	3,840	30.5%	4,451	33.0%	611	+15.9%
営業利益(損失)	△216	△1.7%	240	1.8%	456	—
経常利益(損失)	△188	△1.5%	300	2.2%	488	—
当期純利益	△424	△3.4%	170	1.3%	594	—

### 売上高・売上高営業利益率推移



I 2015年3月期第2四半期 決算

II 2015年3月期通期 業績予想

## **III 現在の取り組みと今後の状況**

IV 株主還元

**労働集約型  
企業**

当社の  
リスク

- **受託開発型**
- **公共分野の売上が7割を占める**

**知識集約型  
企業**

対  
応  
策

- ◆ **商品・サービスの多様化**  
(商品・サービスの開拓)
- ◆ **調査・研究**  
(新商品・新サービスの開発)
- ◆ **人材育成**  
(技術力、提案力、コミュニケーション力)

1

**次期総合行政情報システムの開発**

2

**番号制度などの法制度改正への対応**

3

**データセンターのクラウド化推進**

4

**新技術の調査・研究**

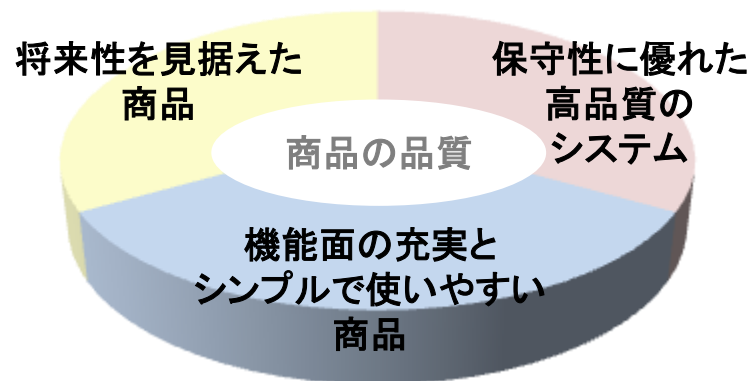
5

**積極的な人材育成**

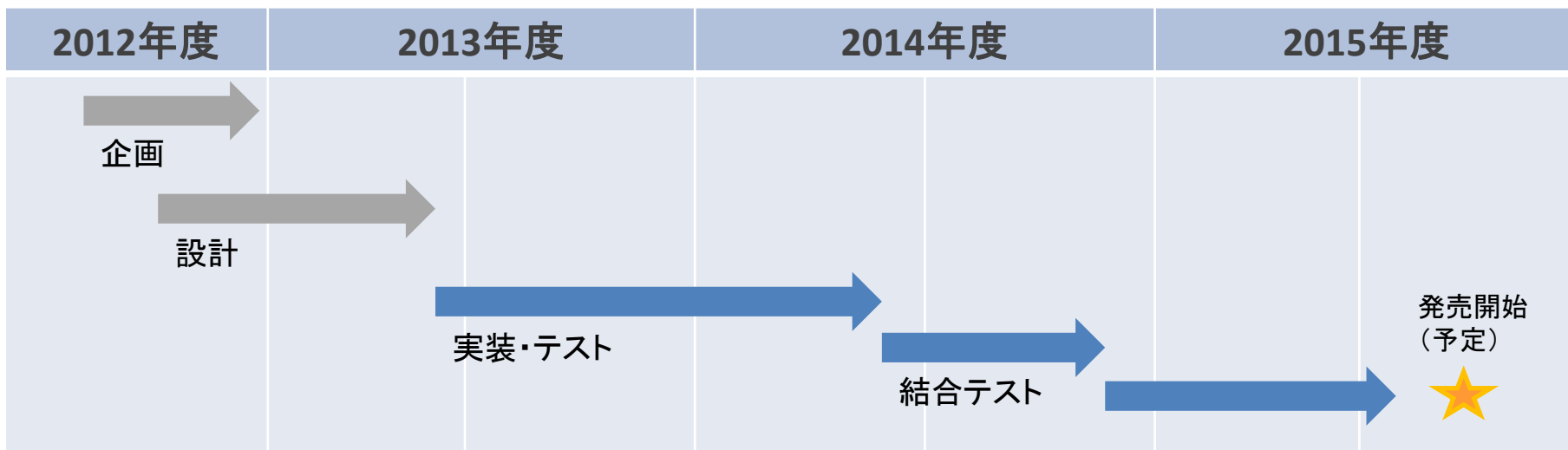
## 開発投資内容

- 発売開始時期・・・2016年1月
- 開発のための支出  
・・・約35億円

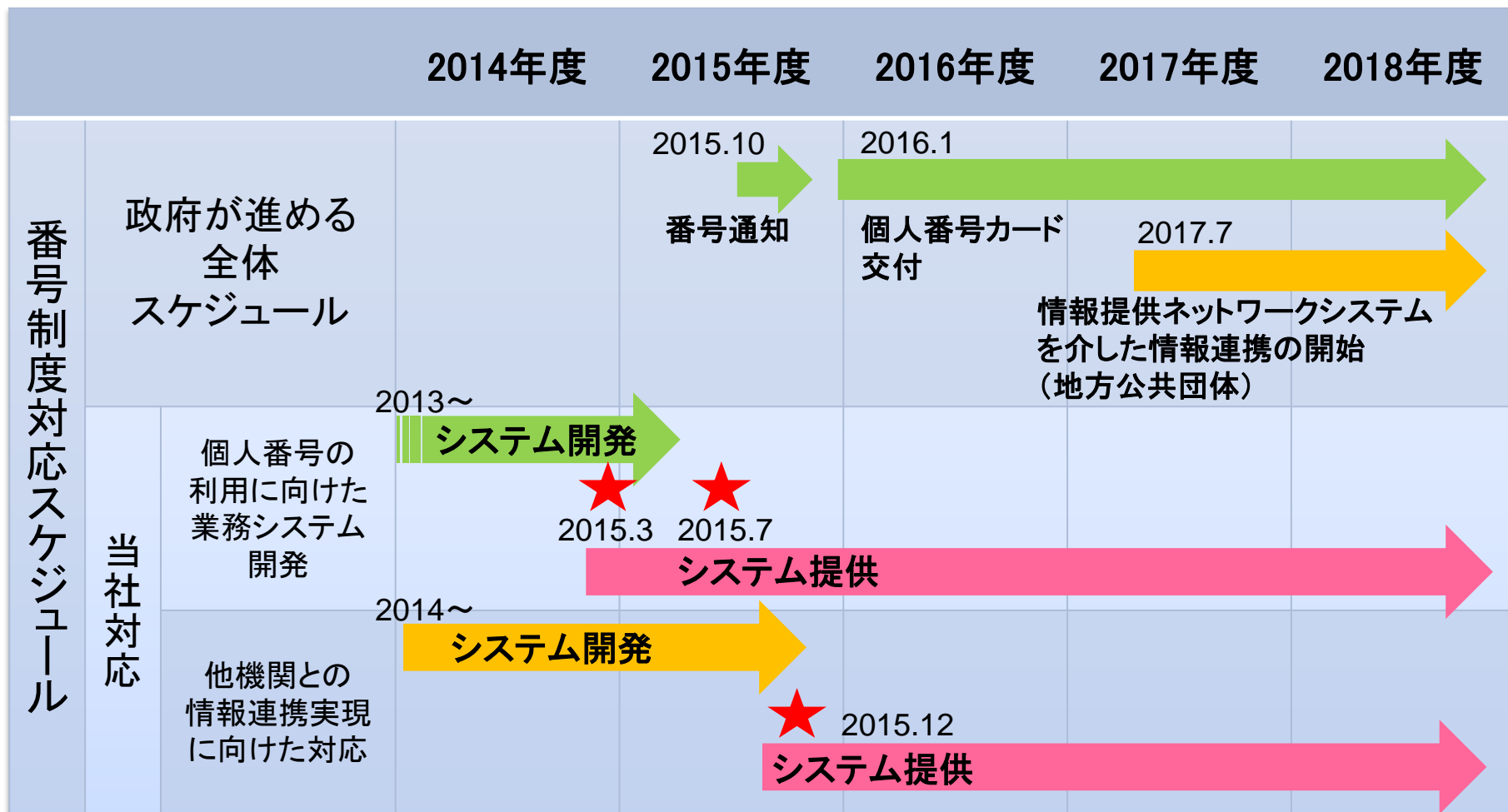
## 商品開発コンセプト



## 商品開発スケジュール



## 2016年1月の個人番号利用開始に向け システム対応を計画的に推進



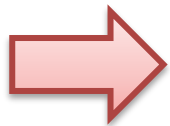
# 今後想定される法律・制度改革等(番号制度は除く)

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
社会 保 障 制 度	子ども・子育て 新制度対応	システム開発	施行		
	介護保険制度改革	システム開発	施行		
	国民健康保険の法改正	システム 開発	施行		
	年金生活者支援 給付金対応	システム開発	施行		
	臨時福祉給付金・子育て 世帯臨時特例給付金対応	システム 開発	★ 支給開始 2014.7		
評 価 替	固定資産税評価替	システム 開発	施行	システム 開発	施行

## データセンターとしての競争力強化

### ＜データセンターへの要求＞

- ビッグデータ市場ニーズへの対応
- 企業ニーズに対応したサービスの充実



- クラウドサービスの充実
- ラックあたりの売上・収益力の向上による効率化



## AirCloud

トータルクラウドサービス

- 国内有数のデータセンターリソースから提供
- クラウドを基盤に業種を超えて適用できる5つのアプリケーション

仮想サーバサービス  
EasyVPS

名刺マスター

ビデオ会議システム  
D-POWWOW  
powered by Net2Phone

ファイル共有サービス  
File Commons

バックアップサービス  
Backup Comfort

## AirLibro

電子ブック作成・公開プラットフォーム

- マルチデバイス対応
- アクセス解析機能装備



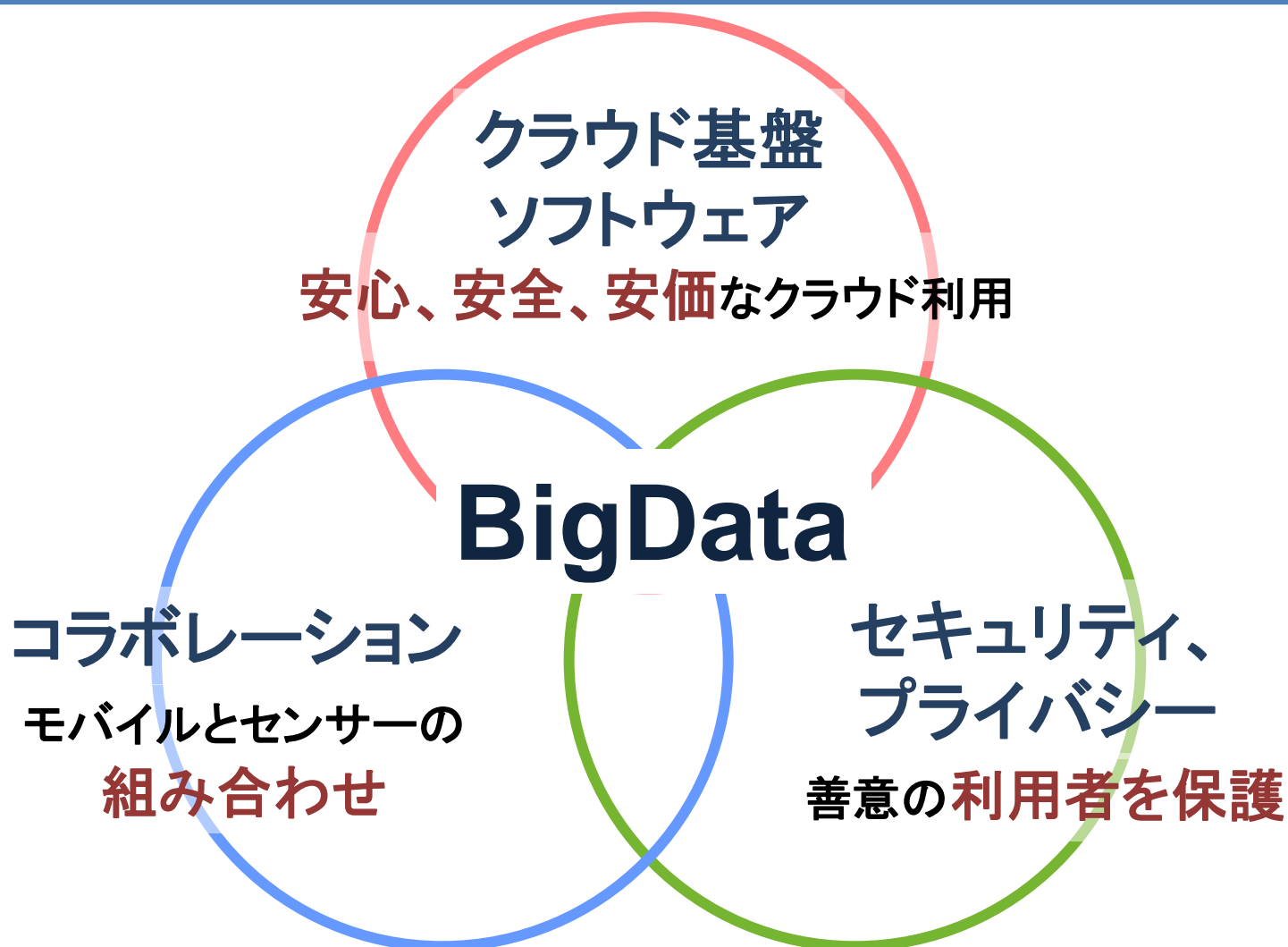
## 株式会社アイネットと提携

- 5月のクラウドサービス(AirCloud)展開の提携に続く第2弾
- 当社データセンターを株式会社アイネットの中部地区クラウドデータセンターとして平成27年1月より稼働
- 首都圏に地盤を置くアイネットとの地域的補完関係を活かし、今後もクラウド事業拡大において協業を進める

### 株式会社アイネットの概要

名称	株式会社 アイネット I-NET CORP.
所在地	横浜市西区みなとみらい3丁目3番1号 三菱重工横浜ビル23階
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 梶本 繁昌
事業内容	業務システムや組込ソフト開発、クラウド・データセンターサービス、BPOサービス
資本金	32億300万円
設立年月日	1971年4月22日

# 商品化に繋がる新技術の調査・研究



- 「2015年問題」対応及び、中高年層の知識の広がりをねらいとする、Java(※)技術者の養成研修
- 社外、海外での研修に積極的に参加することで、他社での経験の社内フィードバック、社外との技術者人脈の形成等も狙う
- 今期を含め、3か年実施予定

## Java技術者レベルアップ研修

### 対象人数(社内)

1回目 15名  
2回目 12名  
3回目 15名(予定)

### 期間・回数

概ね3か月×3回

### 対象人数(中国)

1回目 5名  
2回目 5名  
3回目 3名(予定)

### 期間・回数

概ね3か月×3回

## 高度情報セキュリティ技術者の育成

### 対象人数

1回目 2名

### 期間・回数

1年間×1回

## 英語能力向上支援

### 対象人数

25名(公募による)

## 成長戦略分野

※Java:プログラミング言語のひとつ。

強力なセキュリティ機構や豊富なネットワーク関連の機能が標準で用意されており、ネットワーク環境で利用されることを強く意識した仕様になっている。

I 2015年3月期第2四半期 決算

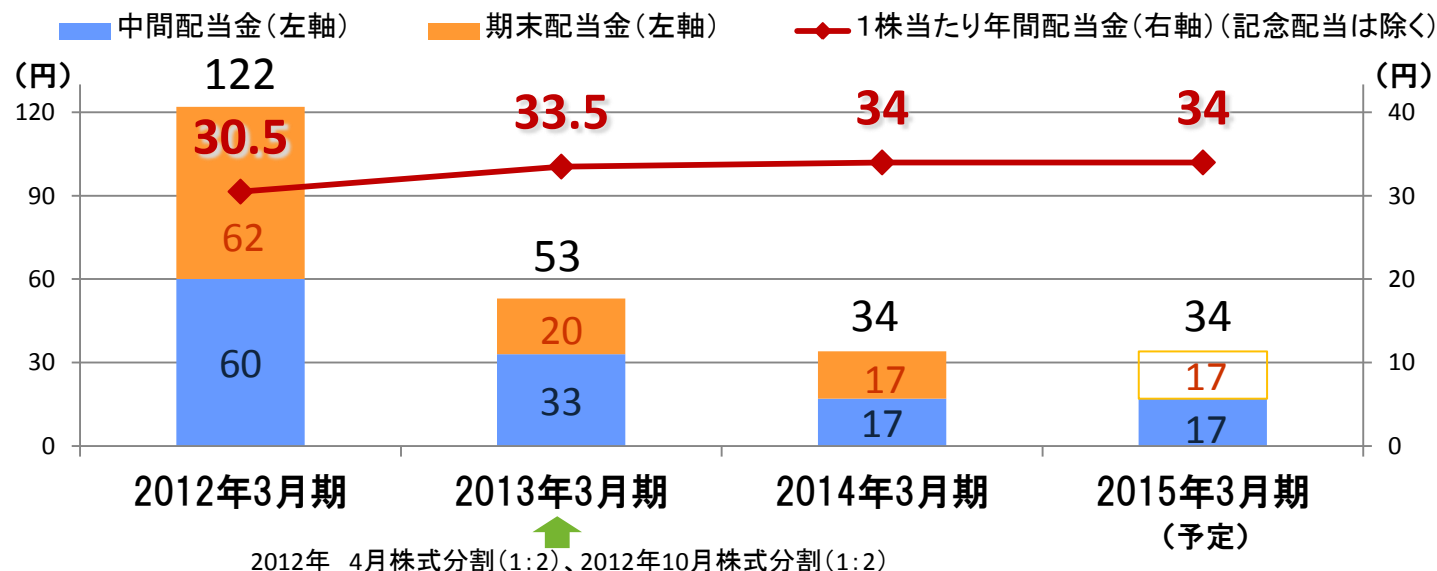
II 2015年3月期通期 業績予想

III 現在の取り組みと今後の状況

**IV 株主還元**

**【配当方針】 中間期末、期末の年2回実施**  
**【配当性向目標】 20%以上**

1株当たり配当金	2014年3月期実績	2015年3月期
年間配当金	34円	34円(予定)
9月中間期末	17円	17円
3月期末	17円	17円(予定)
(配当性向)	—	116.7%(予想)



## 4,000円分の三菱UFJニコスギフトカードを贈呈

### ◆対象株主様

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記録された  
100株以上を保有されている株主様

### ◆贈呈時期

毎年6月下旬 当社定時株主総会終了後、送付する決議ご通知に同封



本日はご清聴いただき  
誠にありがとうございました。

### IRに関するお問い合わせ

IRに関するお問い合わせ・ご質問は下記までお寄せ下さい。

株式会社 電算 経営企画部 IR担当 宛て

TEL: 026-224-6666 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除く8:30~17:30の間)

[ir@ndensan.co.jp](mailto:ir@ndensan.co.jp)

本資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、作成時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後経済情勢や市場動向の変化等、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

本資料は、当社に関する情報提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。

掲載されている情報を投資、その他の目的に利用することが適切か否かに関する決定は、利用者ご自身の判断で行うよう、お願いいたします。



(参考) 2015年3月期第2四半期 貸借対照表(B/S)

資産の部

(単位:百万円)

科目	2014.3.31	2014.9.30	増減
<b>流動資産</b>	<b>7,546</b>	<b>6,258</b>	<b>△1,287</b>
現金及び預金	1,923	1,893	△30
その他	5,623	4,365	△1,256
<b>固定資産</b>	<b>8,749</b>	<b>8,898</b>	<b>149</b>
有形固定資産	7,401	7,334	△66
無形固定資産	338	318	△20
投資その他の資産	1,009	1,245	235
<b>資産合計</b>	<b>16,295</b>	<b>15,157</b>	<b>△1,137</b>

負債及び純資産の部

(単位:百万円)

科目	2014.3.31	2014.9.30	増減
流動負債	5,330	5,223	△107
固定負債	3,317	3,062	△254
<b>負債合計</b>	<b>8,648</b>	<b>8,286</b>	<b>△362</b>
株主資本	7,645	6,623	△1,022
評価・換算差額等	1	247	246
<b>純資産合計</b>	<b>7,647</b>	<b>6,871</b>	<b>△775</b>

■ 期末からの増減の主な要因

<b>資産:</b>	<b>-1,137百万円</b>
受取手形及び売掛金	-1,774百万円
仕掛品	+249百万円
投資有価証券	+249百万円
<b>負債:</b>	<b>-362百万円</b>
買掛金	-611百万円
長期借入金	-198百万円
短期借入金	+516百万円
<b>純資産:</b>	<b>-775百万円</b>
自己株式の取得	-639百万円
期末配当	-99百万円
有価証券評価差額	+246百万円

(参考) 2015年3月期第2四半期 損益計算書(P/L)

(単位:百万円)

科目	2014.03期 2Q	2015.03期 2Q	前期比
売上高	5,403	5,216	△187
売上原価	3,986	3,464	△521
売上総利益	1,417	1,751	334
販管費及び 一般管理費	1,851	2,248	397
営業利益(△は損失)	△434	△496	△62
営業外損益	3	23	19
営業外収益	15	35	20
営業外費用	12	11	△0
経常利益(△は損失)	△430	△473	△42
特別損益(△は損失)	△26	—	26
税引前当期純利益	△457	△473	△15
法人税等合計	△152	△148	4
当期純利益(△は損失)	△305	△325	△19

■前期比増減の主な要因

売上高:	−187百万円
公共分野	+177百万円
産業分野	−364百万円
売上総利益:	334百万円
公共分野法制度改正で売上総利益が改善	
販管費及び一般管理費:	+397百万円
研究開発費の増加	+318百万円
特別損益:	
前期:補助金収入	+205百万円
前期:固定資産圧縮損	−196百万円